

# ふくい街角景気速報

(令和7年12月分)

調査期間 令和7年12月18日～25日 (回答率: 90%)

## 概況

景気の現状判断DIは44.2となり、前月と比べ+0.9ポイント上昇した。

景気の先行き判断DIは46.9となり、前月と比べ+2.5ポイント上昇した。

### ■景気の現状判断DI 44.2 (前月比 +0.9)

- 家計動向関連では、前月と同水準であった。
- 企業動向関連では、前月に比べ3.6ポイント上昇した。
- 雇用関連では、前月に比べ4.5ポイント低下した。

(意見の主な内容)

- 秋の行楽シーズンが終わり、観光客の入りは減少している。ビジネス利用も年末に近くなり徐々に減少傾向。しかしながら、忘年会等の利用が増加しており、特に法人利用が順調。(観光関係)
- 商談や受注状況は回復期で安定している。(一般機械関連)
- 初任給の引き上げの動きも見られるが、企業によって差があり全体として実感しにくい状況。

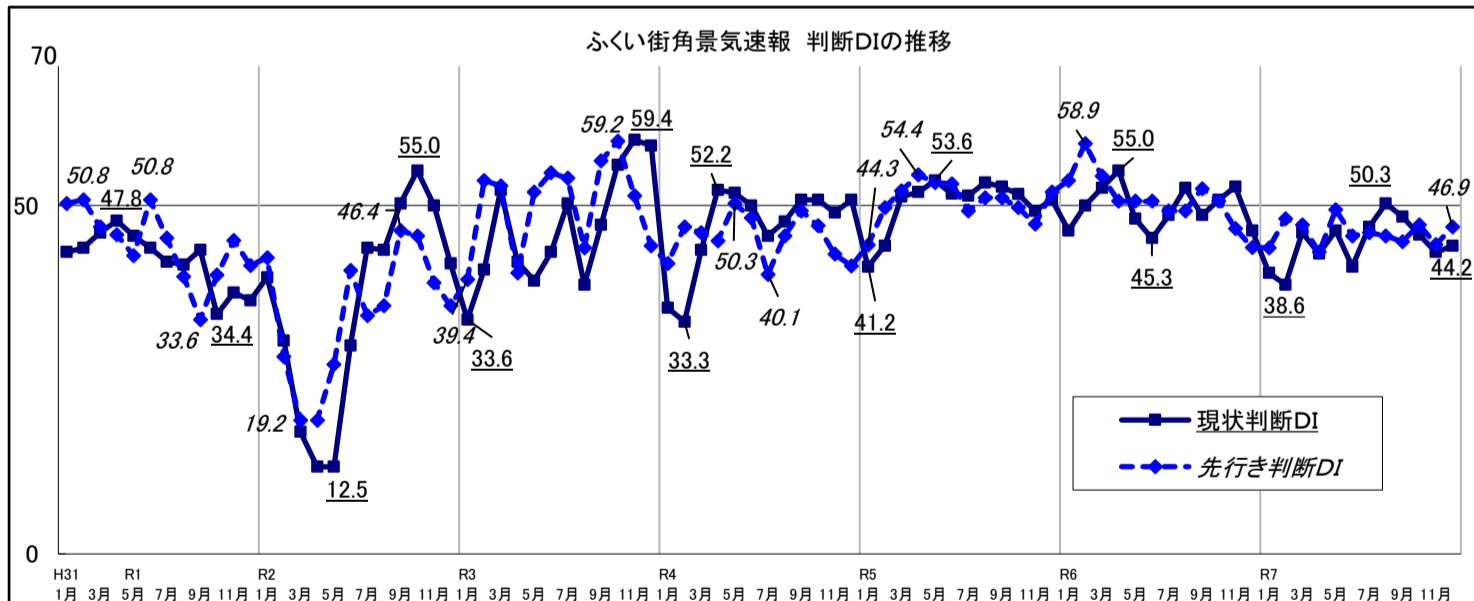
(学校就職担当者)

### ■景気の先行き判断DI 46.9 (前月比 +2.5)

- 家計動向関連では、前月に比べ1.7ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ4.3ポイント上昇した。
- 雇用関連では、前月と同水準であった。

(意見の主な内容)

- 燃料高は改善傾向だが、米を含む生活関連商品の物価高と電気代の高騰が続き、食品、雑貨共に低価格商材が売上を伸ばし続けている。消費者は先行きに不安を感じており、節約志向がしばらく続くと考える。(百貨店、SC等)
- 物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要があるものの、雇用・所得環境の改善、各種の政策効果により、緩やかな回復が期待される。(銀行等金融関連)



&lt;目次&gt;

調査の概要	1 P	
1. 景気の現状判断DI	2 P	
2. 景気の先行き判断DI	2 P	
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 (2) 景気の先行き判断の理由	3 P 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 (2) 調査票	5 P 6 P

## 調査の概要

## 1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

## 2. 調査の実施概要

### (1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査対象とする。

### 地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	合計	調査客体数		
			家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

## (2) 調查事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
  - ② 2~3か月後の景気の先行き判断とその理由

### (3) 調查期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

### 3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75		0.5	0.25

#### 4 DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

悪くなっている ← 変わらない → 良くなっている

## 1. 景気の現状判断DI

### ○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R7 7	8	9	10	11	12	(前月差)
合計		46.9	50.3	48.4	45.8	43.3	44.2	+0.9
家計動向関連		45.3	48.4	47.9	41.7	43.2	43.2	+0.0
小売		44.5	41.7	44.2	39.2	43.1	42.9	▲0.2
飲食		45.0	70.8	54.2	45.8	50.0	45.8	▲4.2
サービス		47.7	54.5	54.2	45.8	40.9	42.5	+1.6
企業動向関連		48.5	52.3	47.7	49.2	40.0	43.6	+3.6
製造業		46.7	52.2	45.8	45.5	36.0	41.0	+5.0
非製造業		52.5	52.5	53.1	58.3	50.0	50.0	+0.0
雇用関連		50.0	52.5	52.3	54.5	54.5	50.0	▲4.5

### ○回答別構成比

	年 月	R7 7	8	9	10	11	12	(前月差)
良くなっている		2.2%	2.2%	2.2%	1.1%	0.0%	2.2%	+2.2
やや良くなっている		15.6%	18.9%	14.3%	17.8%	13.3%	12.2%	▲1.1
変わらない		55.6%	57.8%	60.4%	47.8%	57.8%	51.1%	▲6.7
やや悪くなっている		21.1%	20.0%	20.9%	30.0%	17.8%	28.9%	+11.1
悪くなっている		5.6%	1.1%	2.2%	3.3%	11.1%	5.6%	▲5.5

## 2. 景気の先行き判断DI

### ○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R7 7	8	9	10	11	12	(前月差)
合計		46.1	45.6	44.8	47.2	44.4	46.9	+2.5
家計動向関連		46.4	44.1	45.3	45.8	46.6	48.3	+1.7
小売		45.3	42.5	45.8	50.0	49.1	49.1	+0.0
飲食		55.0	41.7	37.5	41.7	43.8	45.8	+2.0
サービス		45.5	50.0	47.9	37.5	40.9	47.5	+6.6
企業動向関連		46.2	47.0	41.4	48.4	39.3	43.6	+4.3
製造業		43.5	47.8	39.6	46.6	37.0	40.0	+3.0
非製造業		52.5	45.0	46.9	52.8	45.0	52.5	+7.5
雇用関連		44.4	47.5	52.3	50.0	52.3	52.3	+0.0

### ○回答別構成比

	年 月	R7 7	8	9	10	11	12	(前月差)
良くなる		4.4%	1.1%	0.0%	2.2%	0.0%	1.1%	+1.1
やや良くなる		11.1%	11.1%	19.8%	15.6%	18.9%	18.9%	+0.0
変わらない		54.4%	61.1%	46.2%	55.6%	51.1%	53.3%	+2.2
やや悪くなる		24.4%	22.2%	27.4%	22.2%	18.9%	20.0%	+1.1
悪くなる		5.6%	4.4%	6.6%	4.4%	11.1%	6.7%	▲4.4

### 3. 判断理由

#### (1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計動向	奥越	一般小売店	物価対策、ガソリン暫定税率の撤廃。
		福井	百貨店、SC等	個人消費が少しずつ回復していると感じる。
		嶺南	飲食関連	11月から年末にかけて、人が動いているように感じた。中国の人たちは減ったように思うが、多国籍な外国人の方がチラホラ来ている。
	企業動向	丹南	建設・不動産関連	受注残、売上高ともに増加。
③変わらない	家計動向	嶺南	一般小売店	消費マインドが上がっていない。
		福井	百貨店、SC等	おせち動向は前年比プラスで、お正月は贅沢をしたいという表れかと思う。ケーキは前年比マイナスで苦戦。惣菜は継続してマイナスの状況で節約志向は感じる。
		坂井	観光物産関係	物価高の影響があり、商品の動きが鈍くなっている。
	企業動向	坂井	繊維関連	国内外共に良くなっている部分もあるが、トータルでは現状維持かと思われる。
		福井	一般機械関連	商談や受注状況は回復期で安定している。
		奥越	電気機械関連	生産数量が横ばい。
		福井	化学・プラスチック関連	受注・販売実績に特段の変化が見られない。
		嶺南	商社	個人消費の回復途上。
		福井	IT関連	直近の売上状況を基にすると変わらない。
		福井	銀行等金融関連	県内企業の景況は、業況に改善傾向がみられるものの、売上高の低下や、それに伴う採算悪化などから一進一退の状況が続いている。
	雇用	福井	運輸関連	運賃は上昇してきているが、物量は減少傾向にある。
		丹南	自治体労働政策担当課	域内の有効求人倍率や融資状況においては前月並みで推移しており、景気動向としては変わらない。
		嶺南	学校就職担当者	初任給の引き上げの動きも見られるが、企業によって差があり全体として実感しにくい状況。
④やや悪くなっている	家計動向	嶺南	商店街	歳末の抽選会があるが、組合員から例年のような抽選券の追加がないため、売り上げが増えていないのだと思う。飲食店も金・土曜日以外は厳しいようである。
		福井	百貨店、SC等	先月は久しぶりにファッショング動き、コートが好調であったが、前倒し傾向だったのか、今月に入り動きは低迷。価格にはシビアになっている。
		福井	スーパー	値上げにより買い控えや、より安いものを求めてドラッグストアなどに客が流れている。
		坂井	スーパー	気温が下がり切らず、冬物衣料や除雪用品など、本格的な冬支度商品の動きが無い状況。
		福井	コンビニエンスストア	顧客動向に変化は感じないものの、米の値上りや人件費上昇を吸収できる様相はない。
		嶺南	飲食関連	年末年始に向けて出費を抑え気味にしているのか、今年の12月は夜の飲み会予約も少なかった。
		福井	観光関係	秋の行楽シーズンが終り、観光客の入りは減少している。ビジネス利用も年末に近くなり徐々に減少傾向。しかしながら、忘年会等の利用が増加しており、特に法人利用が順調。
	企業動向	丹南	電気機械関連	前年同月比で、売り上げが下回る月が続いているため。
		嶺南	その他製造関連	公共工事の減少。
⑤悪くなっている	企業動向	福井	眼鏡関連	景気が悪く、売れてない。最近では一番悪い状況。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計動向	嶺南	商店街	新年初売りや新年度の需要を期待したい。
		奥越	一般小売店	年収の壁、政策金利や上昇。
		福井	コンビニエンスストア	新政権への期待感が消費を活発にするはず。
		嶺南	飲食関連	春になり、3月ごろからバタバタしそうな気配。近くの歩道拡張工事も完成するため、良くなっていくと予想する。
	企業動向	嶺南	商社	賃上げによる個人消費の動向次第である。
		福井	銀行等金融関連	物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要があるものの、雇用・所得環境の改善、各種の政策効果により、緩やかな回復が期待される。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	物価高・金利高・最低賃金高が続くなか、国から地方自治体に対し、経済対策として交付金が配当され、各自治体がこぞって事業者支援を行うことから、景気は上向くと思われる。
	③変わらない	嶺南	一般小売店	物価高に対し現状維持をしていくことで精一杯だと思う。食品が値上がりしすぎている。
		福井	百貨店、SC等	ファッション領域で2極化している。ラグジュアリーは好調も、ボリュームゾーンの節約志向は変わらず。
		福井	百貨店、SC等	消費支出は少しずつ回復してきているが、物価高や金利上昇の影響などで頭打ちになる可能性もある。
		丹南	百貨店、SC等	燃料高は改善傾向だが、米を含む生活関連商品の物価高と電気代の高騰が継続、食品、雑貨共に低価格商材が売上を伸ばし続けている。特にファッション関連の高価格帯は動きが悪く、買い控えや点数を絞った購入、セール時だけ来店する傾向が強い。変わらず消費者は先行きに不安を感じており、節約志向がしばらく続くと考える。
		奥越	観光物産関係	原材料の値上がり。
		嶺南	観光関係	中国からのインバウンド需要が後退しているが、国内・他地域からのインバウンド需用は、引き続き好調である。
	企業動向	坂井	繊維関連	不確定要素も各分野にあり、先行きに関しては不透明。
		福井	一般機械関連	来年3月末の決算期までは継続する見込み。
		福井	化学・プラスチック関連	大きな案件の話が聞こえてこない。
		福井	建設・不動産関連	年末年始にあたって大きな動きがない。
		福井	運輸関連	物量の増加傾向が見られない。
④やや悪くなっている	家計動向	嶺南	学校就職担当者	一部では前向きな動きも見られるが、業種や立場によって状況に差があり、地域全体に行き渡るまでには時間がかかると感じる。
		福井	ジョブカフェ担当者	求職よりも求人が大幅に上回っている現状に大きな変化はない。企業の採用意識は年々高まりつつあり、特に新卒採用については早期選考が進んでいく。その要として企業間ではインターンシップに向けた関心が高まっている。
		坂井	スーパー	ガソリンの補助金拡大(暫定税率廃止)や、米の価格も落ち着いてきており、その分が他の消費に回ることを期待していたが、足もとではそのような動きはみられず、価格が下がった分だけ売上も下がっている状況。これが今後も続くと思われる。
	企業動向	嶺南	飲食関連	買い出しで毎回同じ量を購入しても、値上げにより出費が増えることが続くと思うと、今後も景気が良くなるとは予想しづらい。
		福井	観光関係	天候次第ではあるが、現在のところ2月末までの宿泊利用は伸びていない。3月に入ると環境が変わり動きが出てくると思われるが、今のところ低調である。
		奥越	繊維関連	周辺の同業者との会話より受注に苦戦している状況が見受けられる。
		福井	商社	燃料が下がったのに物価が下がらず、お客様の購買意欲が感じられない。
		丹南	建設・不動産関連	冬場の閑散期に入る。
⑤悪くなっている	企業動向	丹南	電気機械関連	円安、トランプ関税、中国の報復措置、日中関係の悪化、その他さまざまな国際的状況が、会社にとってマイナスとなって表れやすい状況。

## 4. 参考

### (1) 調査対象の構成

調査対象	人数
<b>家計動向関連</b>	52
<b>商店街、小売店</b>	
商店街関係者	5
小売店経営者・従業員	7
<b>百貨店、SC等</b>	
店長・売場主任	10
<b>スーパー</b>	
店長・従業員	5
<b>家電販売店</b>	
経営者・店長・従業員	2
<b>コンビニエンスストア</b>	
店長・従業員	2
<b>観光物産関係</b>	
売場責任者	3
<b>飲食関連</b>	
レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
<b>その他サービス関連</b>	
サービス業経営者・従業員	4
<b>観光関係</b>	
旅館関係者	2
ビジネスホテル関係者	2
観光・レジャー施設関係者	1
旅行代理店経営者・従業員等	2
タクシー運転手	1
<b>企業動向関連</b>	36
<b>製造業経営者・従業員</b>	
繊維工業	4
眼鏡工業	3
一般機械工業	3
電気機械工業	3
化学・プラスチック工業	3
鉄鋼業	2
伝統工芸	2
商社	2
食料品製造業	2
その他製造関連	2
<b>非製造業経営者・従業員</b>	
IT関連	2
金融機関	2
建設・不動産	3
運輸	3
<b>雇用関連</b>	12
<b>自治体労働政策担当課</b>	
労働相談員	2
学校就職担当者	3
ジョブステーション担当者	2
人材派遣会社	1
就職情報誌編集者	2
<b>計</b>	100

## 4. 参考

### (2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状況についてご回答ください。

(企業・団体名および役職等)

(記入者氏名)

---

---

#### 【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。

今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。

次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない  
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

#### 【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

#### 【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。

次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

#### 【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県 産業労働部 政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)